

平成25年度「使える英語プロジェクト事業」公開授業及び研究協議会の報告書

市町村名 大阪狭山市

実践研究校名 大阪狭山市立南第三小学校

【公開授業】公開日：平成25年10月9日（水）

対象学年：5年

(教材・教科書名) Hi, friends! 1 (单元名) What's this?	(本時の指導の目標) 様々な物の言い方から言葉の面白さに気付くとともに、身の回りの物を表す語に慣れ親しむ。
--	--

(本時の授業において工夫した点)

- ・児童が集中するように実物を使ったり、絵カードに覆いをつけたりする工夫をした。
- ・声を出すのが恥ずかしい児童が多いので、ゲーム形式を取り入れた。(絵カード、はてなボックスなど)

(授業後を終えた教員の感想)

- ・様々なクイズを通して、“What's this?” “It's a” のフレーズを繰り返すことで、言語材料に慣れ親しむことができた。
- ・ゲーム形式を取り入れることで、どの児童も発言しやすい場面が作れ、全員が積極的に参加することができた。

【研究協議会】

(テーマ) ・場面設定の工夫について ・担任と外部指導者（ALTや外国語活動支援員）との連携や役割分担について	(指導・助言者) 大阪狭山市教育委員会 主幹 酒谷 由紀子
---	-------------------------------------

(研究協議会で出された意見)

- ・実物を取り入れたり、絵を見えにくいようにしたりすることで、児童の五感に訴えることができていた。
- ・季節に合わせた海外のストーリー（今回はハロウィン）を紹介していたのがよかった。
- ・ALTに英語で話してもらい、担任が「今何て言ったと思う？」と問いかけたり、問いかけに対して児童が日本語で答えたら「それは英語で何て言うの？」と応答したりする等、ネイティブスピーカーの英語をたくさん聞けるような場面の工夫があるとよいのでは。

(まとめ)

1. ゲームは人前で話すことに慣れていない児童が発言しやすい雰囲気づくりに適している。
2. ゲームで、全体練習した後にペアや個別でさらに慣れ親しむ活動に取り組みさせていくとより効果的である。